社会資本総合整備計画　　防災・安全交付金

令和04年01月28日

計画の名称	川崎市公共下水道　社会資本総合整備計画（防災・安全）		
計画の期間	令和０４年度　～　令和０７年度　(4年間)	重点配分対象の該当	
交付対象	川崎市		
計画の目標	下水道による良好な循環機能の形成		

全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	40,429	A	40,429	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合Ｃ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3末		R7末
1	浸水対策実施率（%）を２８．１％（R3末）から４０．８％（R7末）に増加			
	重点化地区（三沢川、土橋、京町・渡田、川崎駅東口周辺、大島、観音川地区）において、浸水対策が完了した面積の割合 浸水対策実施率（%）＝重点化地区の浸水対策完了済面積／浸水対策重点化地区対象面積	281‰	‰	408‰
2	排水樋管周辺地域の浸水対策累計実施数を６対策（R3末）から７対策（R7末）に増加			
	排水樋管周辺地域（山王、宮内、諏訪、二子、宇奈根地域）における短期対策、当面の対策、中期対策（計１１対策）の実施数	6対策	対策	7対策
3	水処理センター・ポンプ場の耐水化率（%）を５０％（R3末）から８３．３％（R7末）に増加			
	水処理センター・ポンプ場において、内水、外水などの浸水リスクを対象とした対策が完了した施設の割合 水処理センター・ポンプ場の耐水化率（%）=災害時の施設浸水に向けた対策が完了したポンプ場、水処理センター数／ポンプ場・水処理センター数	500‰	‰	833‰
4	避難所や重要な医療機関と水処理センターとを結ぶ重要な管きょの耐震化率（%）を６６．２％（R3末）から８９．０％（R7末）に増加			
	市内全域において、避難所や重要な医療機関と水処理センターとを結ぶ重要な管きょの地震対策が完了した延長の割合 避難所や重要な医療機関と水処理センターとを結ぶ重要な管きょの耐震化率（%）=耐震化された重要な管きょ延長／重要な管きょの総延長	662‰	‰	890‰
5	重要な管きょの耐震化率（%）を８７．０％（R3末）から８９．７％（R7末）に増加			
	市内全域において、重要な管きょの地震対策が完了した延長の割合 重要な管きょの耐震化率（%）=耐震化された重要な管きょ延長／重要な管きょの総延長	870‰	‰	897‰
6	水処理センターの揚水機能確保率（%）を７５．０％（R3末）から１００％（R7末）に増加			
	水処理センターにおいて、揚水機能を対象とした地震対策が完了した施設の割合 水処理センターの揚水機能確保率（%）=災害時の揚水機能の確保に向けた対策が完了した水処理センター数／水処理センター数	750‰	‰	1000‰

案件番号：　0000538304

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3末		R7末
7	ポンプ場の汚水揚水機能確保率（%）を５４．５%（R3末）から１００%（R7末）に増加			
	ポンプ場において、汚水揚水機能を対象とした地震対策が完了した施設の割合 ポンプ場の汚水揚水機能確保率（%）=災害時の汚水揚水機能の確保に向けた対策が完了した汚水ポンプ場数／汚水ポンプ場数	545‰	‰	1000‰
8	水処理センターの消毒機能確保率（%）を５０．０%（R3末）から５０．０%（R7末）			
	水処理センターにおいて、消毒機能を対象とした地震対策が完了した施設の割合 水処理センターの消毒機能確保率（%）=災害時の消毒機能の確保に向けた対策が完了した水処理センター数／水処理センター数	500‰	‰	500‰
9	下水道施設の燃料貯蔵容量確保率（%）を０．０%（R3末）から１６．７%（R7末）に増加			
	ポンプ場、水処理センター及びスラッジセンターにおいて、燃料貯蔵容量の確保へ向けた対策が完了した施設の割合 下水道施設の燃料貯蔵容量確保率（%）=災害時の燃料貯蔵容量の確保に向けた対策が完了したポンプ場、水処理センター、スラッジセンター数／ポンプ場、水処理センター、スラッジセンター数	0‰	‰	167‰
10	汚泥圧送管の再整備率（%）を１２．５%（R3末）から２５．０%（R7末）に増加			
	耐用年数を超過した路線のうち、再整備が完了した箇所の割合 汚泥圧送管の再整備率（%）=再整備完了箇所数／再整備対象箇所数	125‰	‰	250‰
11	温室効果ガス排出量の削減割合（２０１３年度比）（%）を２１．１%（R3末）から２７．７%（R7末）に増加			
	水処理センター・ポンプ場における設備の更新に合わせた高効率機器の導入などにより、温室効果ガス排出量が削減された割合 温室効果ガス排出量の削減割合（２０１３年度比）（%）=（２０１３年度の温室効果ガス排出量－温室効果ガス排出量）／２０１３年度の温室効果ガス排出量	211‰	‰	277‰

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R04	R05	R06	R07	R08	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	管渠（合流）	改築	防災拠点等接続管（地震対策）	L=23,400m	川崎市	■	■	■			11,200		―
	A07-002	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	管渠（合流）	改築	緊急輸送路埋設管（地震対策）	L=1,000m	川崎市	■	■	■			250		―
	A07-003	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	管渠（汚水）	新設	麻生汚泥圧送管（地震対策）	汚泥圧送管	川崎市	■	■	■			810		―
	A07-004	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	改築	大島ポンプ場（地震対策）	汚水ポンプ棟耐震補強等	川崎市	■	■	■			60		―
	A07-005	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	改築	小向ポンプ場（地震対策）	汚水ポンプ棟耐震補強等	川崎市	■	■	■			25		―
	A07-006	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	改築	丸子ポンプ場（地震対策）	汚水ポンプ棟耐震補強等	川崎市	■	■	■			50		―

案件番号： 0000538304

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R04	R05	R06	R07	R08	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	終末処理場	改築	麻生水処理センター（地震対策）	ポンプ棟耐震補強等	川崎市	■	■	■			10		－
	A07-008	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	管渠（雨水）	新設	三沢川地区（浸水対策）	L＝764m	川崎市	■	■	■	■		622	2.5	－
	A07-009	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	管渠（雨水）	新設	土橋地区（浸水対策）	L＝2,733m	川崎市	■	■	■	■		798	1.1	－
	A07-010	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	管渠（合流）	新設	川崎駅東口周辺地区等	浸水対策検討	川崎市	■	■	■	■		100		－
	A07-011	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	管渠（雨水）	新設	排水樋管	遠隔操作設備等	川崎市	■	■	■	■		200		－
	A07-012	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	新設	江川ポンプ場（耐水化）	防水扉等	川崎市	■	■	■	■		2		－

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R04	R05	R06	R07	R08	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-013	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	新設	戸手ポンプ場（耐水化）	防水扉等	川崎市	■	■	■	■		175		―
	A07-014	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	新設	加瀬ポンプ場（耐水化）	防水扉等	川崎市	■	■	■	■		96		―
	A07-015	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	新設	古市場ポンプ場（耐水化）	防水扉等	川崎市	■	■	■	■		213		―
	A07-016	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	新設	京町ポンプ場（耐水化）	防水扉等	川崎市	■	■	■	■		84		―
	A07-017	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	新設	登戸ポンプ場（耐水化）	防水扉等	川崎市	■	■	■	■		41		―
	A07-018	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	管渠（雨水）	改築	宮内排水区	ゲート設備等	川崎市	■	■	■	■		450		策定済

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R04	R05	R06	R07	R08	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-019	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	管渠（雨水）	改築	六ヶ村堀排水区	ゲート設備等	川崎市	■	■	■	■		407		策定済
	A07-020	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	管渠（雨水）	改築	二子排水区	ゲート設備等	川崎市	■	■	■	■		151		策定済
	A07-021	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	管渠（雨水）	改築	堰排水区	ゲート設備等	川崎市	■	■	■	■		255		策定済
	A07-022	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	管渠（雨水）	改築	宿河原排水区	ゲート設備	川崎市	■	■	■	■		180		策定済
	A07-023	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	終末処理場	改築	入江崎水処理センター地震時機能停止リスク低減対策	反応タンク設備ほか	川崎市	■	■	■	■		4,120		策定済
	A07-024	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	終末処理場	改築	加瀬水処理センター地震時機能停止リスク低減対策	反応タンク設備ほか	川崎市	■	■	■	■		4,620		策定済

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R04	R05	R06	R07	R08	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-025	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	終末処理場	改築	等々力水処理センター地震時機能停止リスク低減対策	監視制御設備ほか	川崎市	■	■	■	■		2,120		策定済
	A07-026	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	終末処理場	改築	麻生水処理センター地震時機能停止リスク低減対策	計測設備ほか	川崎市	■	■	■	■		1,120		策定済
	A07-027	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	終末処理場	改築	入江崎総合スラッジセンター地震時機能停止リスク低減対策	汚泥焼却・溶融設備ほか	川崎市	■	■	■	■		1,770		策定済
	A07-028	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	改築	大師河原ポンプ場地震時機能停止リスク低減対策	ゲート設備ほか	川崎市	■	■	■	■		1,710		策定済
	A07-029	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	改築	古市場ポンプ場地震時機能停止リスク低減対策	スクリーンかす設備ほか	川崎市	■	■	■	■		150		策定済
	A07-030	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	改築	戸手ポンプ場地震時機能停止リスク低減対策	受変電設備ほか	川崎市	■	■	■	■		70		策定済

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R04	R05	R06	R07	R08	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-031	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	改築	大島ポンプ場地震時機能停止リスク低減対策	監視制御設備ほか	川崎市	■	■	■	■		590		策定済
	A07-032	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	改築	観音川ポンプ場地震時機能停止リスク低減対策	雨水ポンプ設備ほか	川崎市	■	■	■	■		440		策定済
	A07-033	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	改築	観音川雨水滞水池地震時機能停止リスク低減対策	自家発電設備ほか	川崎市	■	■	■	■		610		策定済
	A07-034	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	改築	渡田ポンプ場地震時機能停止リスク低減対策	躯体	川崎市	■	■	■	■		150		策定済
	A07-035	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	改築	渡田雨水滞水池地震時機能停止リスク低減対策	制御電源及び計装用電源設備ほか	川崎市	■	■	■	■		580		策定済
	A07-036	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	改築	京町ポンプ場地震時機能停止リスク低減対策	自家発電設備ほか	川崎市	■	■	■	■		160		策定済

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R04	R05	R06	R07	R08	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-037	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	改築	京町雨水滞水池地震時機能停止リスク低減対策	制御電源及び計装用電源設備ほか	川崎市	■	■	■	■		540		策定済
	A07-038	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	改築	加瀬ポンプ場地震時機能停止リスク低減対策	雨水ポンプ設備ほか	川崎市	■	■	■	■		1,070		策定済
	A07-039	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	改築	丸子ポンプ場地震時機能停止リスク低減対策	雨水ポンプ設備ほか	川崎市	■	■	■	■		970		策定済
	A07-040	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	改築	江川ポンプ場地震時機能停止リスク低減対策	雨水ポンプ設備ほか	川崎市	■	■	■	■		1,300		策定済
	A07-041	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	改築	渋川ポンプ場地震時機能停止リスク低減対策	制御電源及び計装用電源設備ほか	川崎市	■	■	■	■		790		策定済
	A07-042	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	改築	等々力ポンプ場地震時機能停止リスク低減対策	雨水ポンプ設備ほか	川崎市	■	■	■	■		600		策定済

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R04	R05	R06	R07	R08	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-043	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	改築	登戸ポンプ場地震時機能停止リスク低減対策	計測設備	川崎市	■	■	■	■		10		策定済
	A07-044	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	改築	踊場ポンプ場地震時機能停止リスク低減対策	自家発電設備ほか	川崎市	■	■	■	■		90		策定済
	A07-045	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	改築	高石中継ポンプ場地震時機能停止リスク低減対策	計測設備	川崎市	■	■	■	■		10		策定済
	A07-046	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ場	改築	広域ネットワーク	通信線（光ケーブル）	川崎市	■	■	■	■		660		策定済
											小計						40,429		
											合計						40,429		

交付金の執行状況

（単位：百万円）

	R04				
配分額（a）	2,486				
計画別流用増△減額（b）	0				
交付額（c=a+b）	2,486				
前年度からの繰越額（d）	0				
支払済額（e）	1,061				
翌年度繰越額（f）	1,425				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額（h = c+d-e-f）	0				
未契約繰越率+不用率（i = (g+h)/(c+d))％	0				
未契約繰越率+不用率が10％を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

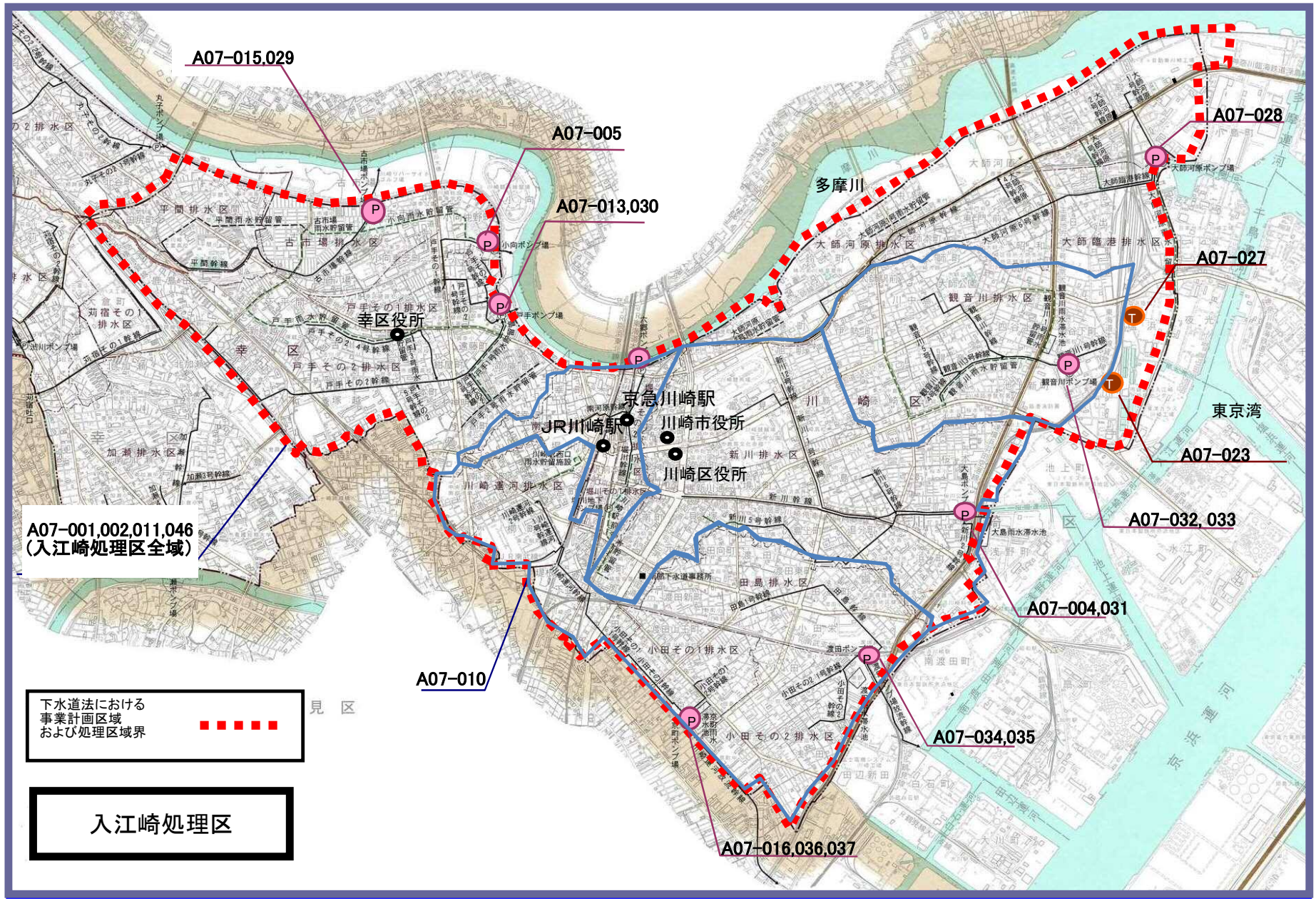
計画の名称： 川崎市公共下水道　社会資本総合整備計画（防災・安全）

事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性	
計画の目標が上位計画と適合している。	○
I.　目標の妥当性	
地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
II.　計画の効果・効率性	
計画の目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性	
指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II.　計画の効果・効率性	
十分な事業効果が見込まれている。	○
III. 計画の実現可能性	
全体事業費・要素事業費の額が適切である。	○
III. 計画の実現可能性	
計画の具体性など事業の熟度が高い。	○

案件番号 :0000538304

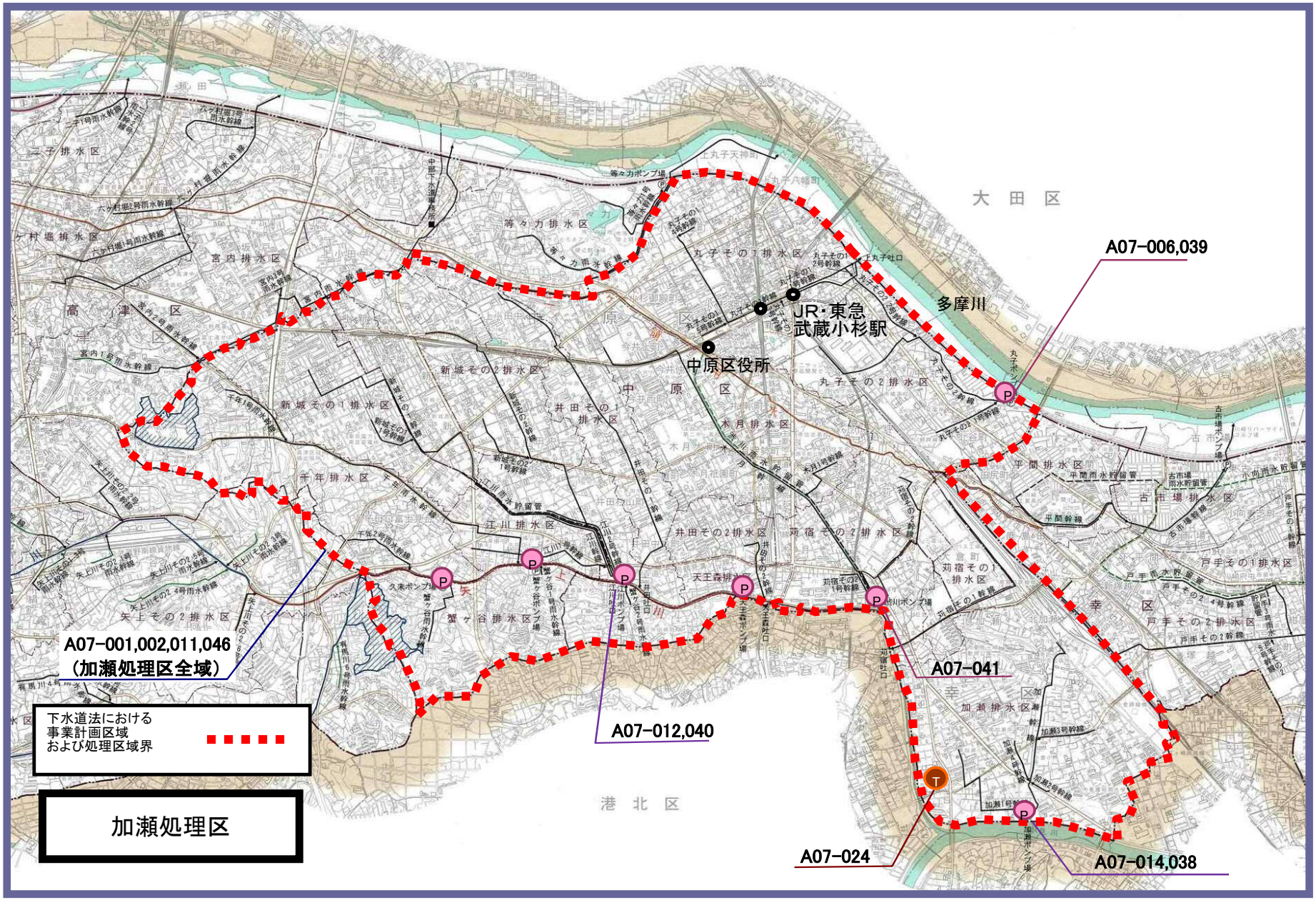
（参考図面）

計画の名称	川崎市公共下水道　社会資本総合整備計画（防災・安全）		
計画の期間	令和4年度　～　令和7年度　（4年間）	交付対象	川崎市



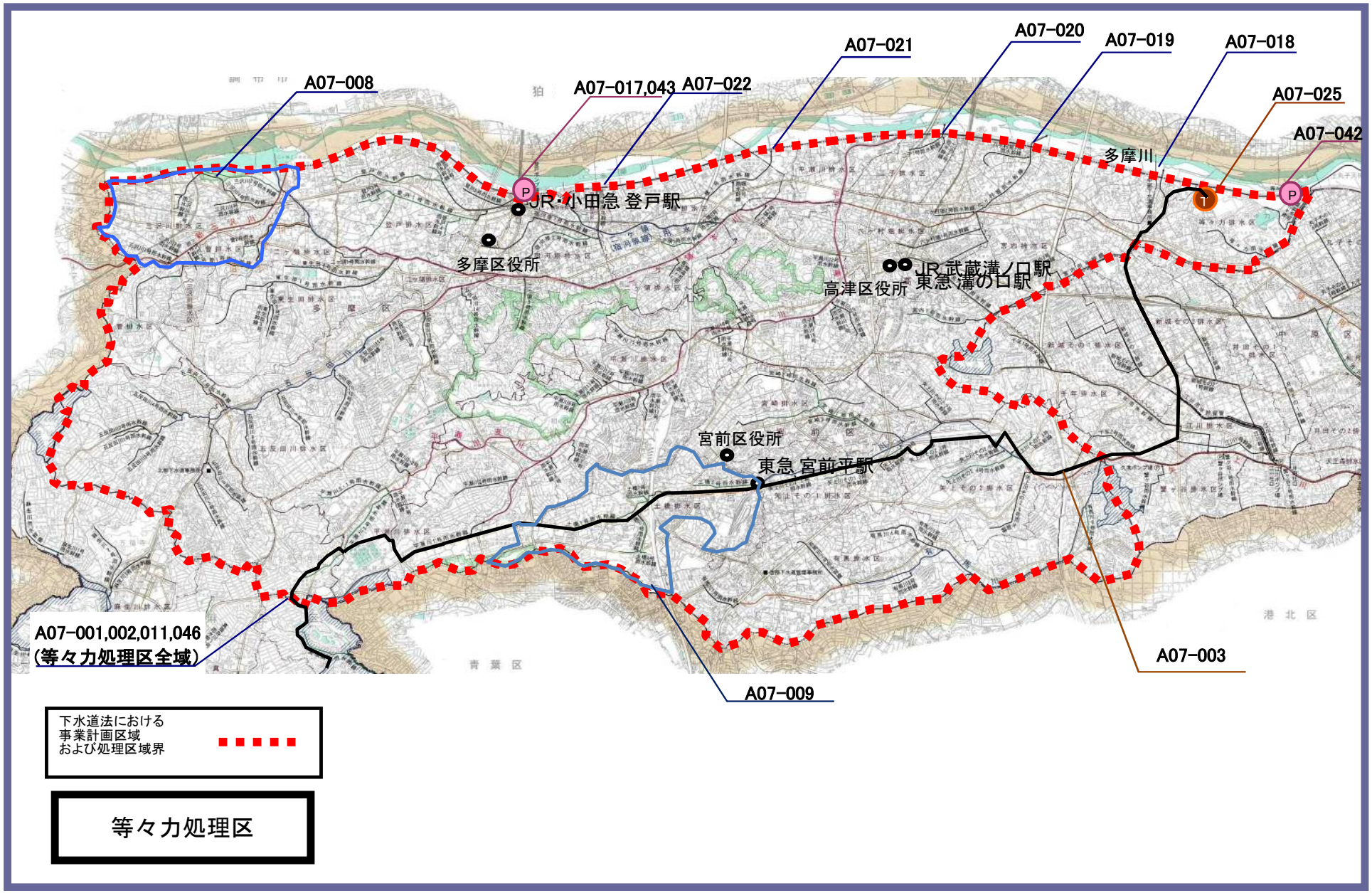
（参考図面）

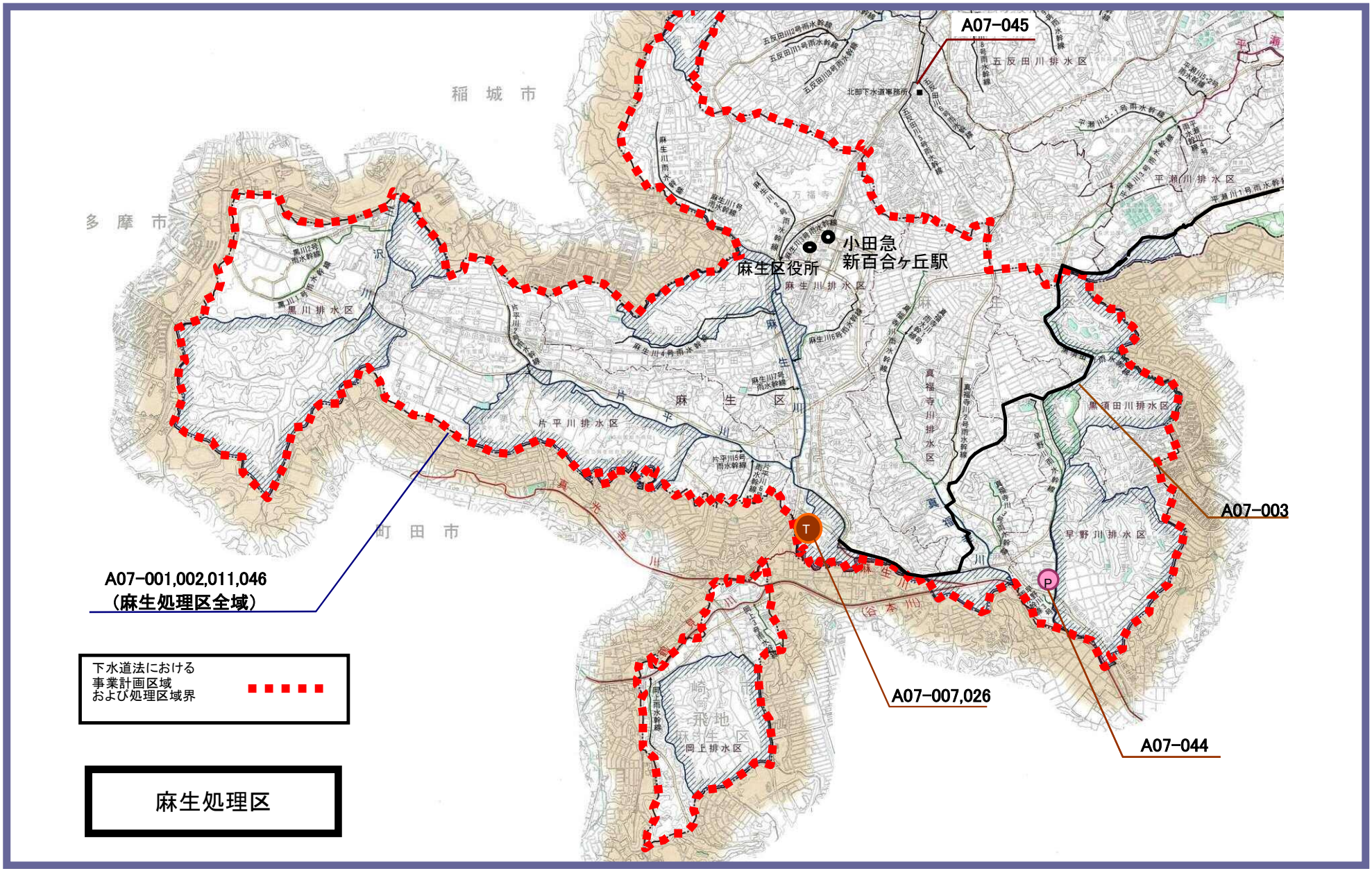
計画の名称	川崎市公共下水道　社会資本総合整備計画（防災・安全）		
計画の期間	令和4年度　～　令和7年度　（4年間）	交付対象	川崎市



（参考図面）

計画の名称	川崎市公共下水道　社会資本総合整備計画（防災・安全）		
計画の期間	令和4年度　～　令和7年度　（4年間）	交付対象	川崎市



（参考図面）

計画の名称	川崎市公共下水道　社会資本総合整備計画（防災・安全）		
計画の期間	令和4年度　～　令和7年度　（4年間）	交付対象	川崎市